



発行 高崎市医療介護連携相談センターたかまつ  
〒370-0829 群馬県高崎市高松町5-28  
高崎市総合保健センター3F  
TEL: 027-329-6611 FAX: 027-329-6612

編集 中島 透・坂本道子・森田廣樹・乾 恵輔  
(地域包括ケアシステム委員会)

## CONTENT

- 訪問診療外伝 ..... 中島 透 ①
- あるひとりごと ..... 静 毅人 ②
- 在宅医療 Q&A ..... 岡部 美保 ②
- おしえて、在宅療養の実際 ..... 高橋 紀貴 ③
- 「相談センターたかまつ」の活動報告 ..... ④

## 訪問診療外伝

地域包括ケアシステム委員会 委員 中島 透

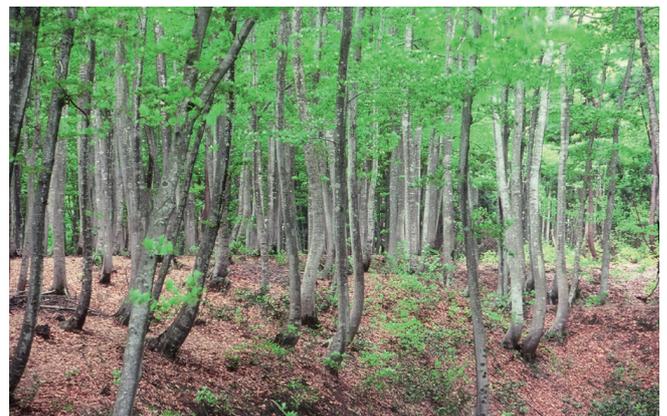
私が訪問診療している患者さんは、長年当院へ通院されていたが加齢や病気による体力の低下などが原因となり、来院できない状態となった方がほとんどだ。午後休診の日や昼休みの時間などを利用して出かけているのだが、実際にご自宅に伺ってみると、外来診療だけでは得られない経験をしたり、思いもかけないお話をしてもらったりもする。ここでは訪問診療の医学的内容ではなく、今でも印象に残っているスピノフとしてのエピソードをいくつかご紹介したい。

【症例1】何度も体調を崩して入退院を繰り返している高齢のKさん。退院したので訪問診療に行くと、「あたしゃ入院しているとき、焼かれてたまるか！って気合を毎日入れていた」と私に言い放つ。「そのかいあって、今回もまた我が家に戻ってきたんだよ」……それからは診療終了後に「焼かれてたまるか！」と、二人で拳を上げて唱和するのがお約束となった。

【症例2】百歳を超えているHさんは、戦時中に東京で敵戦闘機の機銃掃射を受け、幼かった娘を抱いて必死に逃げて九死に一生を得たそうだ。訪問すると「昨日の夕食は大好きなとんかつ一人前をペロりとたいらげた」と誇らしげに言う。少し認知症があるので、念のため同居している娘さんに確認したが本当とのこと。激しい戦火をかいくぐり、肉をがつつり食して生き延びてきたのだから、やっぱり百歳長寿は半端ないって。

【症例3】平成11年夏、癌のエンドステージで寝たきりになったMさんを訪問したところ、布団から起き上がって大声まであげている。これは夢か幻かと思ったところ、実はちょうど桐生第一高校が甲子園大会の決勝戦を戦っている最中だった。実はこのときまで群馬県勢は一度も甲子園で優勝したことがなかったので、野球好きのMさんは応援に気合が入り過ぎて、いつの間にか起き上がっていたのだった。人間の精神力にbravo！

数々の修羅場を経験しながら在宅医療に積極的に従事されている方々に比べると、なんともゆる〜い訪問診療なのだが、とりあえず患者さんも喜んでくれるのでこれはこれでいいのだろう。今後も自分自身の年齢や体力なども考慮して、持続可能な範囲で在宅医療を行っていこうと思っている。



(撮影者) 富澤 滋 「新緑の美人林」

私は開院する際にしっかりと在宅医療を学びたいと思い、大学の同級生がしている在宅医療専門のクリニックで研修させていただき、その後もお盆休みや年末年始休暇などを利用して、年に数回、在宅医療の修行を続けているところです。

在宅医療は患者様やご家族との距離が近く、良い反応も悪い反応もダイレクトにいただくため強いメンタルが必要だと思えます。また、医療の総合的な知識も当然必要で、訪問看護・訪問介護・訪問入浴・老人

保健施設のスタッフの方など多くの関係者とのコミュニケーション力や、“緩和”医療を目指すために多くの努力が必要なのかもわかってきました。実際には病状が悪化や急変に対応する救急医のような役割をすることも多いと感じています。在宅医療は求められるものが非常に多い、ハイレベルな診療形態だといつも感じております。これからも在宅医療専門のクリニックで培っている考え方などをすこしでも還元し、今後も常に身を締めつけて診療していきたいです。

## 在宅医療 Q&A 第19回

回答者 在宅創傷 スキンケアステーション 岡部 美保

### Q 失禁関連皮膚炎 (IAD) : おすすめのスキンケア方法はありますか

**A** 失禁のある療養者は、昼夜を問わずおむつを使用し、おむつ内へ排泄をする現状があります。おむつで覆われている皮膚は、高温多湿な環境にあり、排泄物の付着により浸軟しやすく、感染リスクも高くなるため、特に脆弱な皮膚の高齢者や乳幼児には注意が必要です。療養者は、局所にIADを生じた場合、排泄物の付着による不快感や搔痒感、疼痛などの苦痛を感じます。同時に、頻回な局所の観察や治療が必要になると、療養者にはさらに精神的な苦痛を強いることになりQOLにも影響を及ぼすと言えます。療養者の自尊心や羞恥心に配慮した排泄ケアを行うとともに、IADの発生メカニズムを理解した上で、予防的なスキンケアを実践し継続することが求められます。

#### 失禁関連皮膚炎 (IAD : incontinence associated dermatitis) とは

IADは、「尿または便(あるいは両方)が皮膚に接触することにより生じる皮膚炎です。この場合の皮膚炎とは、皮膚の局所に炎症が存在することを示す広義の概念であり、その中にいわゆる狭義の湿疹・皮膚炎群(おむつ皮膚炎)やアレルギー性接触皮膚炎、物理化学的皮膚障害、皮膚表在性真菌感染症を包括する。」と日本創傷・オストミー・失禁管理学会により定義されています。

#### ◇ IADのメカニズム

おむつに覆われた皮膚は、尿や便が長時間付着することにより浸軟を生じ、バリア機能が低下もしくは破綻します。それにより皮膚は、些細な刺激で損傷を起こしやすくなります。排尿後、長時間おむつ交換が行われない場合、尿はアルカリ性に傾きpHを上昇させ感染リスクを高めます。また、便に含まれる消化酵素は、角層損傷の要因となり、細菌などが真皮組織の内部に流入することによって組織障害が生じます。皮膚には刺激物質が容易に浸透し、さらに炎症を生じてIADを発症します。(写真)



尿失禁・便失禁によるIAD



便失禁によるIAD(カンジダ症の疑い)

#### IADの予防的スキンケア

IADの予防には「尿失禁・便失禁のアセスメントと管理」「スキンケア」が重要です。IADのスキンケアは「洗浄(清拭)・保湿・保護」が基本です。①皮膚に付着した排泄物の除去、②皮膚を清潔に保つための洗浄、③皮膚生理的機能を保ち、排泄物から皮膚を守るための保湿・保護を行いましょう。

#### ◇ 便失禁の予防的スキンケア : 有形便の場合

● **洗浄・清拭** 洗浄剤を用いた頻回な洗浄は、皮膚への化学的刺激が大きくなります。そのため、排便回数が多い場合でも洗浄剤の使用は1日1回に留めます。洗浄剤は弱酸性の製品を使用し、たっぷりの泡で優しく洗浄します。皮膚に洗浄剤成分が残らないように微温湯で十分洗い流します。あらかじめ泡を、ティッシュペーパーなどで軽く拭き取っておくと、速やかに洗い流せます。水分は柔らかいタオルなどで押さえ拭きをします。しわやたるみなどある部分は、排泄物が残りやすく浸軟やスキントラブルを生じやすくなります。皮膚をよく観察し優しく丁寧に洗浄します。市販のおしり拭きを用いる場合は、アルコール成分を含まない製品を使用しましょう。皮膚清拭剤を噴霧したトイレットペーパーなどで清拭すると、皮膚への機械的刺激が軽減できます。

● **保湿・保護** 皮脂は、洗浄により洗い流されます。洗浄や清拭後には保湿剤を塗布して、皮膚を保護します。保湿剤を塗布する範囲は、排泄物が付着している、さらに排泄物が付着する可能性があるすべての部位に使用しましょう。

特に軟便や水様便の場合は、排泄物の付着から皮膚を守る保護のスキンケアが大切です。保湿に加え、撥水効果のあるクリームや皮膚被膜剤を使用した保護をおすすめします。また、軟便・水様便専用のおむつ(パッド)などもあり用いることも有効です。

引用文献: 岡部美保: 在宅療養者のスキンケア 健やかな皮膚を維持するために. 日本看護協会出版会. 2022.

在宅医療について皆様からの質問を募集いたします

ご質問は、相談センターたかまつ(FAX: 027-329-6612)または、高崎市医師会(FAX: 027-323-2551)へお寄せください。



## 医療の場からみた社会変化について ～身寄りのない人の支援を考える～

群馬県医療ソーシャルワーカー協会  
高崎総合医療センター

高橋紀貴

医療ソーシャルワーカー（以後：MSW）は、疾病や心身の障害などに悩む患者や、その家族が安心して医療を受けることができるよう、経済的、心理的、社会的な問題に対して相談に応じたり、関係機関や院内職員との連絡・調整に努め、社会復帰の促進を図る等、保健医療機関において社会福祉の立場で支援を行う職種です。

救急医療の場では、疾病発症に伴い、抱えていた生活課題が顕在化した方の支援を通して、社会の変化を垣間見ることがあります。

その中でも最近「身寄りのない人」の救急搬送が目立つように感じます。「身寄りのない人」とは、頼れる家族や親類、知人等がない状況である人、家族や親類はいるが連絡先がわからない等の理由により連絡がつかない人、家族や親類はいるが関係が断絶している等により支援を得ることが困難な人、いわば「身寄りがない」ことで社会的に孤立している人です。他に、頼れる親族がおらず同居家族が認知症や知的障がいのある人、ひとり親で幼児や児童のみの家庭等も含まれると思います。

背景として、少子高齢化や独居高齢者の増加、世帯構成の変化、ライフスタイルの自由化、価値観の多様化、家族や知人等との関係の希薄化等が「身寄りのない人」の増加の要因と言われています。

「身寄りのない人」が医療を受ける場合、入院時に「身元保証」「身元引き受け」、入院中は「日用品の調達」「医療同意」、退院時は「医療費の支払い」「退院支援」等が課題として挙げられます。例えば、救急搬送に伴い保険証や金銭を持たずに来院、十分な預貯金はあるが金銭をおろす手段がない、介護施設入所契約するうえで保証人を立てることができない、等の問題が生じます。本人の判断能力がある場合は相談しながら対応できますが、意識レベルの低下や、認知症により判断能力低下がみられる場合、解決することが困難となります。

これらの課題について、MSW や病院だけで解決することは難しいため、地域の支援者や行政等に相談しながら協働で支援を行います。「身寄りのない人」は複雑な生活背景や様々な課題が重複している場合もあり、その都度必要な対応をしなければなりません。時には、保証に関することで病院や施設、地域の支援者、住居の大家等、本人の生活を支える人々が「泣き寝入り」する事態も発生します。成年後見制度や生活保護等、様々な資源や制度があるように思われますが、誰もが平等に利用できるわけではなく、すべての問題を解決するための社会資源や公的制度は存在しないのが現状です。

従って「身寄りがない」ことで起こる課題は、当事者の課題意識がない等、個人の課題と思われそうですが、社会変化の影響や、変化に合わせた十分な制度等がないといった社会的課題でもあるという視点を持つことが重要です。

今後もこのような背景の方の増加が予測されており、医療福祉介護の現場だけではなく生活に関係する多分野にわたる課題になると考えられます。

他県では、地域課題として捉えツールを開発し普及啓発活動を行い、「身寄りのない人」を支援する仕組みづくりに取り組む市町村や関係機関もあるようです。当協会においても人権や身元保証に関する活動を行っております。

高崎地域で医療や福祉、介護を受けながら安心して生活を送ることができるよう、関係機関や行政等が手を取り、日頃から連携し「身寄りのない人」を支えられるよう、当協会としても考えていきたいと思っております。



# 「相談センターたかまつ」の活動報告

## 「高崎市在宅医会講演会」を開催しました

### テーマ 「褥瘡処置(ケア)について」

日時 令和5年5月24日(水) 午後7時半～午後9時

方法 ハイブリッド開催(高崎市総合保健センター 3階 第4会議室)

参加者 Web: 53名、会場: 27名、計80名(医師、看護職、介護職など)



### 「褥瘡治療と 外用剤の使い分け」

講師 すみれ皮膚科  
須藤 麻梨子 先生

●須藤先生からは、外用剤を柱とした、治療に重点をおいたお話をいただきました。

褥瘡は、発生機序をよく理解し予防することが第一だが、発生してしまった場合は、機序をよく理解して治療をしていくことが大切。また、発症した原因の有無を検証し改善を図ることが必要であることをお話いただきました。

褥瘡時期に対応した外用薬の選択について、「誰がケアするのか」、「洗浄のし易さ」、「費用面」、「使用する時の注意点」などを大変分かりやすく詳細にご説明いただきました。



### 「在宅における 褥瘡予防的ケアの実際」

講師 在宅創傷スキンケア  
ステーション  
岡部 美保 先生

●岡部先生からは、「褥瘡の発生要因」、「褥瘡状態の評価スケール」、「炎症・感染」についてなど、コンサルテーションの中での実際の症例を交えてお話をいただきました。

まとめとして、「褥瘡ケアは、何よりも予防が重要」、「褥瘡が発生した場合DESIGN-R2020を活用した褥瘡状態の評価を行う」、「創面、創周囲皮膚に何が起きているか、発生悪化の要因は何かを多面的に見極めることが必要」、「褥瘡ケアは、褥瘡状態やライフスタイルにあった、その家庭で継続できる最善の方法を、本人・家族と一緒に考え実践することが大切」と締めくくりました。

講演後の質疑応答では、会場から、「講演を聞いて愛を感じたが、褥瘡を愛をもってみるにはどうしたら良いか」という質問がありました。須藤先生からは、「実際にケアしているご家族がどのような事に困っているのか、家族の負担を考え、それに対し自分が何が出来るかを考え日々診療にあたっている。」、岡部先生からは、「褥瘡ケアが大好き、チームの一員として関わっていることだけでも幸せ、褥瘡を持っている本人、支えているチームの皆さんへのリスペクトが愛だと思います。」とおっしゃいました。

愛に溢れた講演で、あっという間に時間が過ぎ、素晴らしい講演となりました。須藤先生、岡部先生、本当にありがとうございました。



### アンケート結果 (回収: 5/26現在 36名)

92%が講演内容について「満足」である、  
また、「業務において役に立つ」と回答し、大変好評でした。

ご参加くださった皆様ありがとうございました。アンケートの一部をご紹介します。

●実例を沢山使用したとても分かりやすい説明をありがとうございました。DESIGN-R2020は文面では判断が難しい部分もありました。今回実例を見比べて説明いただけたことで、現場に活かしやすくなりました。また、薬選びの根拠がわかりやすく、勉強になりました。(有料老人ホーム)

●岡部先生と同じです。褥瘡ケアが大好きです。なので、今日の講義はとても勉強になりました。ありがとうございました。(訪問看護事業所)

●褥瘡の発生、改善の仕方が褥瘡からもわかることを初めて知ることができました。薬剤がどのように選ばれるか、「褥瘡の褥瘡」とケアする人、資料を読み返して頭を整理します。どうもありがとうございました。(高齢者あんしんセンター)

### 言の葉

美しい新緑を眺めながら自転車を漕いでいる。  
帰り道、ふわぁ〜っとカレーのいい香り、仕込みの準備かな。  
小さな幸せ、今日も一日頑張ろう!!

相談センターたかまつ

